

グンゼ株式会社

(コード番号：3002)

2020年3月期 (124期) 決算説明資料

2020年5月14日

1. 通期決算概要

I-1. 2020年3月期累計業績

連結業績

(単位：百万円，%)

	2020年 3月期 累計	2019年 3月期 累計	対前期		利益率(%)	
			増減額	増減率 (%)	2020年 3月期 累計	2019年 3月期 累計
売上高	140,311	140,706	△394	△0.3%	—	—
営業利益	6,746	6,690	56	0.8%	4.8%	4.8%
経常利益	6,868	7,152	△283	△4.0%	4.9%	5.1%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	4,387	4,087	300	7.3%	3.1%	2.9%

前期 営業外利益（為替差益） 183

I-1. 2020年3月期累計業績〈補足〉

適時開示 (5/14)

■ 2021年3月期業績予想の公表延期について

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大が今後の業績に影響を与える要素となっているものの、現時点では収束の見通しは立っておらず、業績予想の合理的な算定が困難であることから、2021年3月期の業績予想を未定とする
- ・ 今後、業績予想の算定が可能になった時点で速やかに公表

■ 中期経営計画（CAN20 第2フェーズ 以下CAN20） 期間延長について

- ・ 当初計画では、現在推進中の CAN20 の期間を2017年度～2020年度とし、次期中期経営計画は 2021年度（2022年3月期）を開始年度と想定
- ・ CAN20 最終年度の2020年度業績予想が予測困難な状況下で、次期中期計画を策定することはその信頼性が懸念されるため、現在推進中の CAN20 の期間を1年間延長する
- ・ 目標値は当初計画通り
売上高 1,500億円、営業利益 80億円、当期純利益 56億円、ROE 5%
- ・ CAN20 の延長期間は2017年4月(122期)～2022年3月(126期)の5年間
- ・ 次期中期経営計画の公表は、2022年5月を予定

I-1. 2020年3月期累計 業績 <補足>

適時開示 (5/14)

■ 役員報酬減額について

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大による影響で、当社グループは厳しい経営環境下であり、グループ全構成員が一丸となって経営改善に取り組む必要があることを取締役が率先して示すため、取締役（社外取締役除く）の月額報酬（2020年5月～2020年9月）については、代表取締役社長30%減額、その他の取締役20%減額

■ 自己株式取得の見合わせについて

- ・ 中期経営計画「CAN20 第2フェーズ」では、連結配当性向 50%と自己株式取得を合わせ「総還元性向 100%」を目安に株主価値の向上に努めている
- ・ 2020年度の自己株式取得については、新型コロナウイルス感染拡大に伴う金融市場動向および当社業績への影響が不透明なため、当面は見送りとし、業績見通し公表後、改めて検討する予定

I-2. 役員人事について

適時開示 (5/14)

■ 新任取締役候補

木田 理恵 (きだ りえ) 非常勤、社外取締役候補

■ 退任予定取締役

岡 修也 (執行役員 繊維資材事業部長は継続)
木村 克彦 (執行役員 エンプラ事業部長は継続)
阿武 克也 (執行役員 アパレルカンパニー長は継続)

■ 執行役員人事

氏名	現職	新職
佐口 敏康	代表取締役兼常務執行役員 経営戦略部長	代表取締役兼専務執行役員 経営戦略部長
木村 克彦	取締役兼執行役員 エンプラ事業部長	常務執行役員 エンプラ事業部長
阿武 克也	取締役兼執行役員 アパレルカンパニー長	常務執行役員 アパレルカンパニー長

(注) 上記はいずれも2020年6月25日付の予定

I-3. 新型コロナウイルス感染症によるリスク情報

- ・ 4月7日政府発令の「緊急事態宣言」により、「新型インフルエンザ等対策特別措置法」に基づく外出自粛要請・ステイホームが呼びかけられる中当社グループにも大きな影響を与えている
 - ・ アパレルのインナーウェア、レッグウェアにおいては店頭販売が減少
 - ・ ライフクリエイトのスポーツクラブは、4月17日以降全館臨時休館の措置を取っており、売上高が大きく減少
 - ・ 海外を含む生産活動は、今のところサプライチェーンに大きな支障はなく、複数ラインでの生産体制により製品供給に問題はないと認識
 - ・ 財政状態について、運転資金は自己資金の充当およびコマーシャル・ペーパーの発行により調達。コマーシャルペーパー、コミットメントライン、および取引銀行における当座借越においても十分な枠を保有しており、当面の資金調達については十分な余力を有す
- ・ 事態が長期化又は更なる感染拡大が進行すれば当社グループの財政状態にも少なからず影響を及ぼす可能性があることから、状況の変化に応じて新規の資金調達枠についても、適宜検討の予定

今後も新型コロナウイルス感染拡大に関する情報収集および対応を継続的に実施し、その影響の極小化に努める

I-4. 通期決算サマリー

機能ソリューション事業

(単位：億円)

対前年 増減		主なポイント
売上高	31	<ul style="list-style-type: none"> ●半導体不況の影響を受けるも、M & Aによる効果もあり増収 ◆プラスチックフィルムは、ナイロンフィルムが堅調に推移も、OPPフィルムや多層シートは市況の影響を受け苦戦
営業利益	△0	<ul style="list-style-type: none"> ◆エンジニアリングプラスチックは、半導体市場向け及び産業機器向けは苦戦も、OA向け製品が引き続き堅調に推移 ◆電子部品は、中国内販は堅調に推移も、フィルム販売は減少 ◆メディカルは、株式会社メディカルユーアンドエイの子会社化により増収も、米国向け組織補強材の減少と治験費用等の増加影響を受ける

アパレル事業

対前年 増減		主なポイント
売上高	△31	<ul style="list-style-type: none"> ●消費増税後の消費マインドの低下や、大型台風等の自然災害、暖冬、及び新型コロナウイルス感染拡大による影響を受けるも、事業体質改善により営業増益となる
営業利益	2	<ul style="list-style-type: none"> ◆インナーウェアは、メンズインナーのBODYWILD「AIRZ」とYG「カットオフ」や、レディスインナーのKIREILABOを中心に順調に推移し、レッグウェアを含めた商品開発力強化により、収益性が向上

ライフクリエイティブ事業

対前年 増減		主なポイント
売上高	△3	<ul style="list-style-type: none"> ◆不動産関連では、ショッピングセンター事業は消費増税や新型コロナウイルス感染拡大による影響を受けるも、地域に密着した取り組みや、賃貸事業における新規物件が貢献
営業利益	△0	<ul style="list-style-type: none"> ◆スポーツクラブは、会員数の減少に歯止めがかかったものの、新型コロナウイルス感染拡大による影響を大きく受ける

I-5. セグメント別業績

連結業績

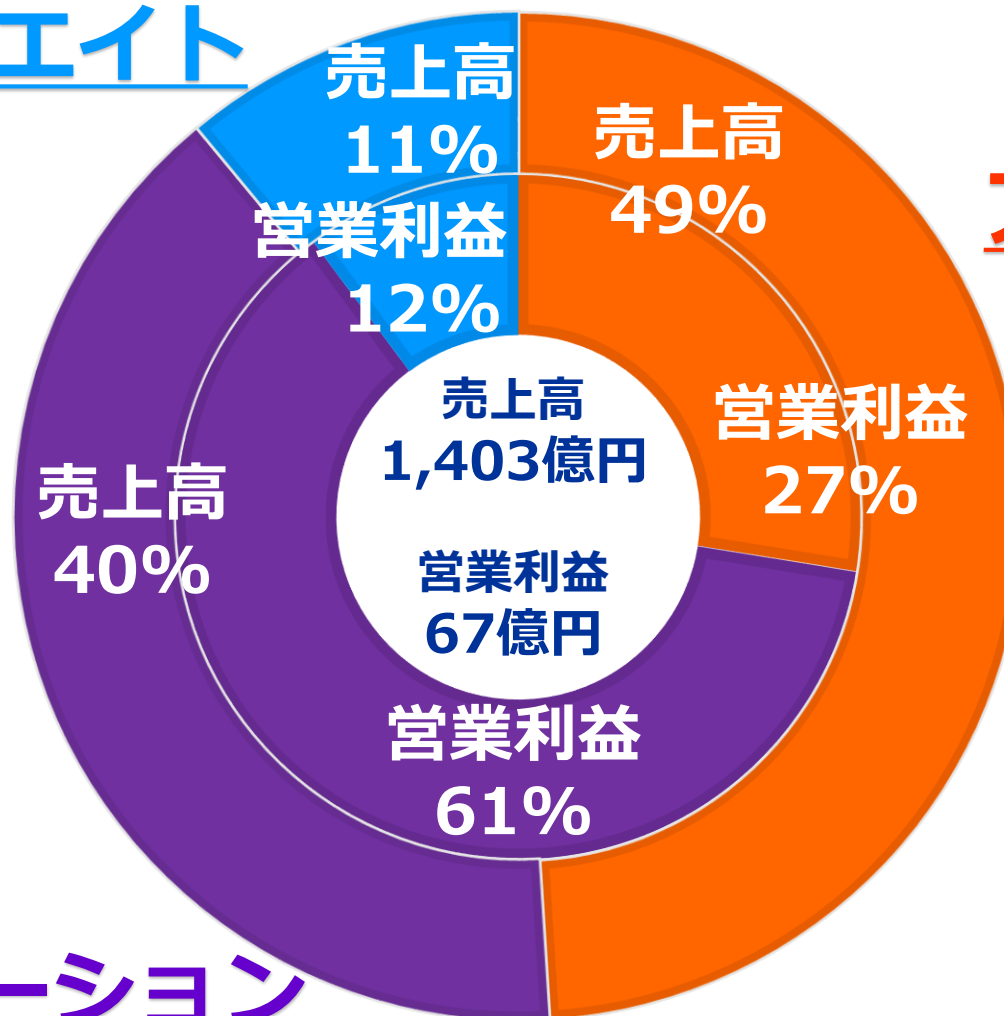
(単位：百万円)

	売上高			営業利益 (下段：利益率)		
	2020年 3月期 累計	2019年 3月期 累計	増減	2020年 3月期 累計	2019年 3月期 累計	増減
機能 ソリューション	56,361	53,234	5.9% 3,126	6,120 10.9%	6,160 11.6%	△0.6% △39
アパレル	69,491	72,609	△4.3% △3,117	2,743 3.9%	2,507 3.5%	9.4% 236
ライフ クリエイト	14,945	15,285	△2.2% △339	1,187 7.9%	1,241 8.1%	△4.4% △53
合計	140,311	140,706	△0.3% △394	6,746 4.8%	6,690 4.8%	0.8% 56

I-6. 通期累計 セグメント別構成比

ライフクリエイイト

アパレル



機能ソリューション

I-7. 特別損益

(単位：百万円)

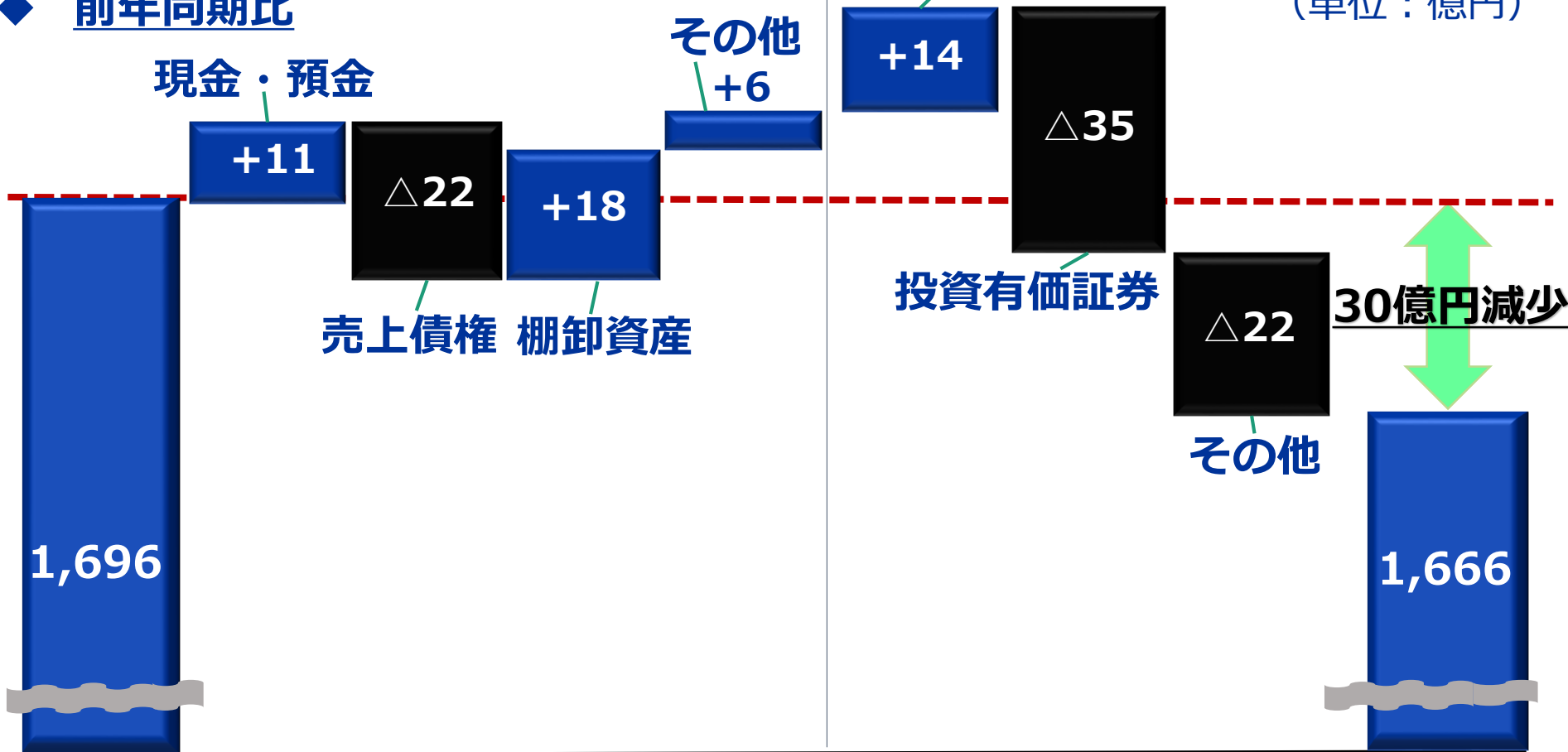
	2020年 3月期	2019年 3月期	増減
固定資産売却益	1,058	690	367
減損損失	-867	-	△867
工場移転費用	-390	-	△390
その他特別損益	-770	-1,547	778
特別損益合計	-969	-857	△112

I-8. 主要財務・経営指標(連結)

	単位	2020年 3月期 3月末実績	2019年 3月期 3月末実績	増減
ROA:総資産営業利益率	%	4.0	3.9	0.1
ROE:自己資本利益率	%	4.0	3.7	0.3
総資産	百万円	166,633	169,632	△2,998
自己資本	百万円	107,566	109,506	△1,940
自己資本比率	%	64.6	64.6	—
有利子負債額	百万円	25,030	26,242	△1,212
BPS : 1株当たり純資産	円	6,061.10	6,059.06	2.04

I -9. 資産の増減内容

◆ 前年同期比



(単位：億円)

'19/3末

< 流動資産 13 >

< 固定資産 △43 >

'20/3末

I-10. キャッシュフロー

キャッシュフロー

(単位：百万円)

	2020年 3月期	2019年 3月期	増減
営業活動	13,688	11,491	2,196
投資活動	△8,262	△7,373	△888
FCF	5,426	4,118	1,308
財務活動	△4,886	△5,483	597
現金及び 現金同等物 期末残高	9,267	8,102	1,165

■ 主な営業CF

税金等調整前当期純利益	5,899
減価償却費	6,390
売上債権の減少	3,385
法人税等の支払額	△2,174

■ 主な投資CF

固定資産の売却による収入	2,195
固定資産の取得による支出	△9,599

■ 主な財務CF

長期借入による収入	1,643
長期借入金の返済による支出	△2,454
配当金の支払	△1,989
自己株式の取得等による支出	△1,487

I-11. 設備投資と減価償却費

◆ 前年同期比

(単位：百万円)

	設備投資			減価償却		
	2020年 3月期	2019年 3月期	増減	2020年 3月期	2019年 3月期	増減
機能ソリューション	1,683	3,152	△1,469	2,408	2,665	△257
アパレル	1,046	1,335	△289	1,378	1,342	36
ライフクリエイト	2,297	2,096	201	2,152	2,073	79
その他	352	761	△409	562	568	△6
合計	5,380	7,346	△1,966	6,502	6,650	△148

■ 今期の主な投資実績

商業施設整備及び賃貸住宅新築

プラスチックフィルム生産設備

インナーウェア生産設備

Ⅱ. 事業セグメント別の概況

Ⅱ-1. 通期事業概況

◆ 機能ソリューション事業 1

■ プラスチック

新市場・新商品の開発とベトナム新工場の立ち上げでグローバル生産体制を強化

◆ 製品群	概況
平板収縮	・ 薄膜化、ハイブリッドタイプ等環境ニーズ商品は順調も冷夏、暖冬等の影響により飲料向けが低調
ナイロン	・ 冷凍・チルド向け耐ピンタイプが好調、コロナ関連では内食向け需要の増加によりピザ、ウインナー、レトルト向けが増加
工業用品	・ 半導体市場の落ち込み影響を受ける
OPP	・ 工場野菜向けは暖冬による露地野菜の安価継続影響を受け苦戦
グローバル	・ ハイブリッドフィルムの認知度向上で米国向けが順調



■ ナイロンフィルム

■ エンジニアリングプラスチック

非OA分野は半導体不況の影響を受けるも、OA向け機能商品は、中国、新興国向け部品が牽引

◆ 製品群	概況
OA向け機能商品	・ 中国、新興国向けのプリンター部品が牽引
非OA分野	・ 半導体市場向け成型品が苦戦



■ シームレスベルト

Ⅱ-2. 通期事業概況

◆ 機能ソリューション事業 2

■ 電子部品

差異化技術力の向上と筋肉質経営により、持続的黒字経営に繋がる事業へ再構築

◆ 製品群

概況

タッチパネル	・ 中国内販向けは順調に推移したが、出荷調整の影響を受けた
フィルム販売	・ 米中貿易摩擦による電子機器・産機メーカーの新規開発遅れの影響を受ける
その他	・ 受託加工は、量産化に向けた加工が増加



■ ウェットコーティング

■ メディカル

新たに株式会社メディカルユーアンドエイを子会社化し骨接合材等の拡大を目指す

◆ 製品群

概況

組織補強材	・ 国内は新たな診療科での浸透により堅調、また中国での市場拡大により伸長したが、北米向けの減少をカバーできず
骨接合材	・ 国内で新規競合参入の影響を受け苦戦
人工皮膚	・ 国内での新製品ペルナックGプラスによる新規顧客獲得、及び中国市場拡大により伸長
メディカルユーアンドエイ	・ 医療用レーザーならびにグンゼ製品の骨接合材及び人工硬膜が堅調



■ ペルナックGプラス

Ⅱ-3. 通期事業概況

◆ アパレル事業 <3月は、コロナ影響を受ける>

■ インナーウェア分野

BODYWILD「AIRZ」の展開店舗拡大を進め、完全無縫製・カットオフ、スポーツカテゴリー商品を拡販するとともにEC等の新規成長販路の拡大を図る

● 差異化技術商品、リテール部門の取り組みを強化、高収益品へのシフトにより収益体質へ改善

- BODYWILD：「AIRZ」新アイテムのトップス、新商品「3D-boxer」好調。ECチャンネルは大幅伸長
- YG：「CUTOFF」「In.T」等差異化商品中心に好調
- シーズンは気温変動影響を受け苦戦
- KIREILABO：補整力を高めた「カップ付インナー」「ブラファンデ」好調
- Tuché：「ナイトブラ」、ワイヤレスブラ「sweetmakeブラ」等新商品が好調。EC、SPA等成長販路での伸長が貢献



YG「in・T」



KIREILABO「ブラファンデ」

■ レッグウェア分野

新商品の訴求力強化と展開強化並びに新機軸追求による成長拡大を進め、最適生産体制によるコスト構造の変革を図る

● 主カストッキングは着用機会の減少により苦戦

- ストッキング：着圧タイプ等高機能商品は堅調も、全体では気温変動影響や、コロナ影響でのイベント自粛による着用機会減少により低迷
- LDソックス：レギパンが新規販路で拡大



サブリーナ「Acti-Fit」



HAQCARE(ハクケア)

Ⅱ-4. 通期事業概況

◆ ライフクリエイイト事業

■ 不動産関連分野

商業施設の収益力向上とグループの発展に向けて
 投資効率を考慮した保有資産の有効活用を推進

● SC事業の現況

- ・つかしん：生活関連や食品、サービス関連好調により堅調に推移
- ・鴻巣前橋：鴻巣は人気テナ誘致効果が功を奏したが、前橋はテナ売上不振の影響を受ける

● 不動産賃貸事業の現況

- ・新規商業施設案件(島根県出雲市、京都府綾部市) 収入が寄与
- ・賃貸住宅は、新規物件(東京都杉並区、愛知県江南市)効果により増収



■つかしん

■ スポーツクラブ分野

店舗特性に合わせたオペレーション改革による売上の伸長

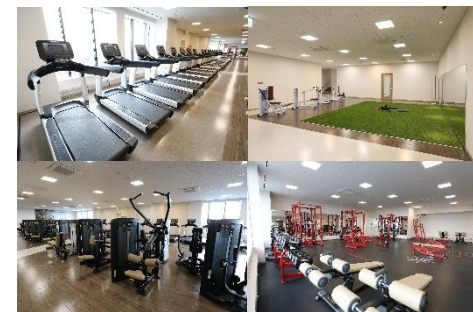
<3月は、コロナ影響を受ける>

● 国内

- ・入会促進キャンペーンにより会員数の減少に歯止めがかかり、また、全店舗シフト管理による効率化の効果があがり、経営改善が進む
- ・吹田健都店は、ハイブリッド化(ジム24時間利用)を11月よりスタート、会員数が増加
- ・新型コロナの影響を受け、3月は一部施設・サービスを制限

● 海外 (カンボジア)

- ・新型コロナの影響で利用者が落ち込み、会員数も大幅減

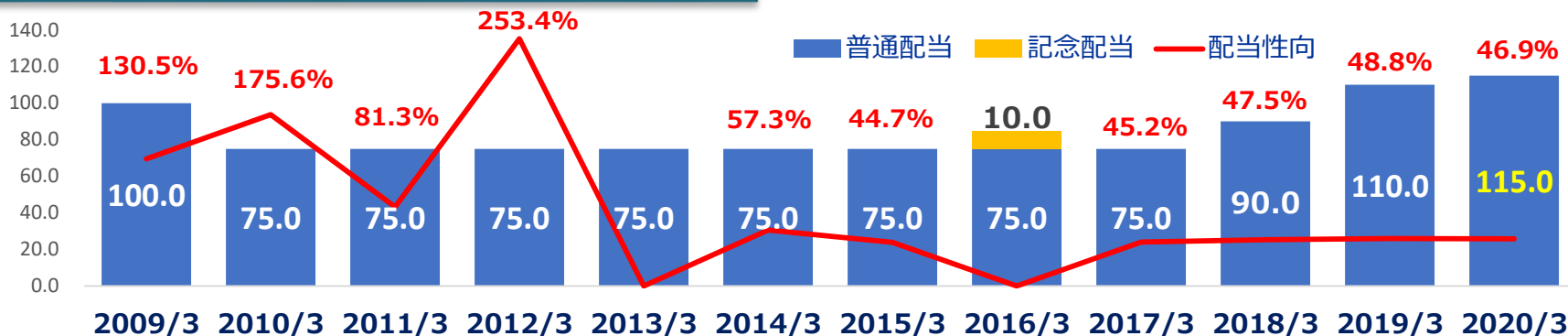


■吹田健都店 24Hジムエリア

Ⅱ-5. 株主還元

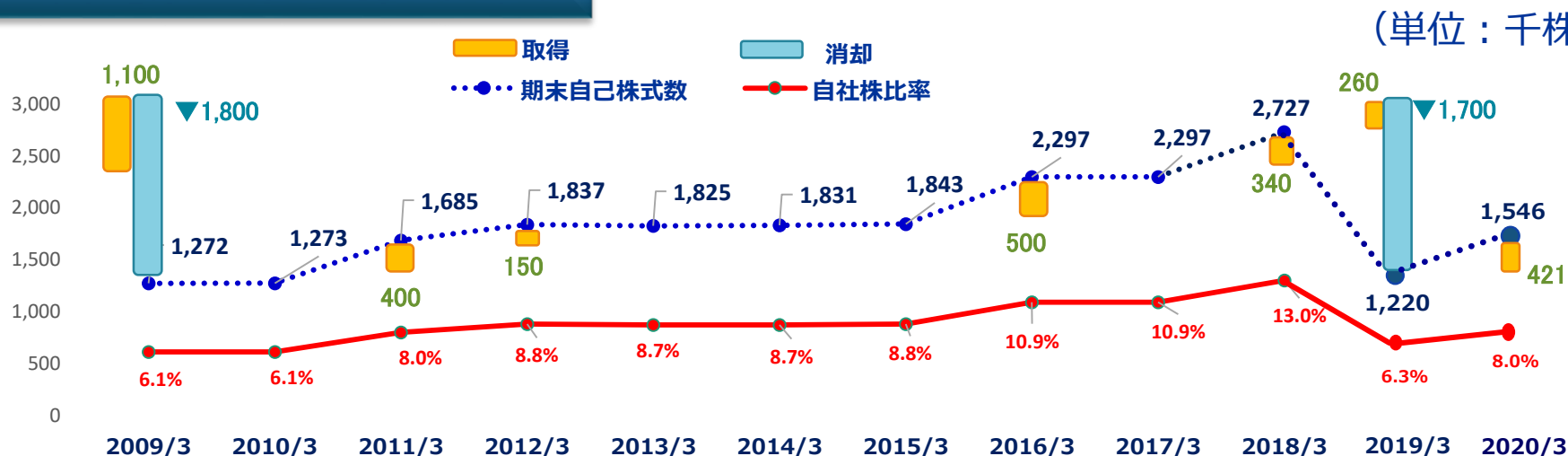
1 株配当金と配当性向の推移

(単位：円)



自社株の状況

* 2017年10月1日からの株式併合(10株を1株) に合わせて、2017年3月末以前の株数を換算しております



剰余金の配当に関して、2019年度は、1株当たり配当金を115円を予定

Ⅲ. 今後の見通し

Ⅲ-1. 今後の見通し

当社グループは、2014年6月に2021年3月期までの中期経営計画「CAN20」を発表しましたが、新型コロナウイルスの世界的感染拡大が、当社グループに大きな影響を及ぼしていることから、2020年度は、その影響を最小限とする取り組みを最優先とし、中期経営計画の最終年度を2022年3月期まで延長することとしました

今後も急速に変化する状況に応じて必要な対策を実施し、組織のバインド力(結束力)を高め、全構成員が一丸となり目標達成を目指してまいります

Ⅲ-2. 今後の見通し

◆ 2020年度見通し

機能ソリューション事業

- ・ プラスチックフィルムは、海洋プラスチック問題や、食品ロスの削減に寄与する環境対応型新商品を開発し市場への投入を目指す。また、今期から稼働したベトナム新工場の垂直立上げを実現し、早期経営貢献を目指すとともに、国内では守山工場(滋賀県)でのサーキュラーファクトリー(資源循環型工場)実現に向けたプロジェクトをスタートする
- ・ エンジニアプラスチックは、主力のOA市場向け製品に加え、産業機器向け製品の拡販を目指す
- ・ メディカルは、昨年度子会社化した(株)メディカルユーアンドエイとのシナジーをさらに推進するとともに中国他海外市場での拡販、次期大型新商品の承認取得を目指す

アパレル事業

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大による影響により、店頭での販売不振が懸念される中、ECチャネルでの商品訴求力を強化
- ・ インナーウェアは、消費者ニーズの天然素材回帰、カジュアル化に即した新素材・新商品をYG、BODYWILDブランドで投入
- ・ レッグウェアは、消費者ニーズの変化に基づく市場対応力を強化し、若年層をターゲットにしたサブリナの新商品、カジュアルトレンドに対応したTucheのフルリニューアル等積極的に投入

ライフクリエイティブ事業

- ・ 商業施設の収益力向上の推進や投資効率を重視した物件別管理を強化
- ・ スポーツクラブについては、新型コロナウイルス感染拡大による影響が継続すると想定されるが、会員の皆様とスタッフの健康と安全を第一に考え、取り組む

Ⅲ-3. 今後の見通し

◆ 2020年度設備投資・減価償却計画

(単位：百万円)

	設備投資			減価償却		
	2021年 3月期計画	2020年 3月期実績	増減	2021年 3月期計画	2020年 3月期実績	増減
機能ソリューション	8,000	1,683	6,317	2,700	2,408	292
アパレル	1,900	1,046	854	1,400	1,378	22
ライフクリエイト	800	2,297	△1,497	1,900	2,152	△252
その他	400	352	48	500	562	△62
合計	11,100	5,380	5,720	6,500	6,502	△2



次期の
主な
投資計画

プラスチックフィルム生産設備	4,200
エンジニアリングプラスチック生産設備	2,600
インナーウェア生産設備	1,300

明日をもっと、ここちよく

GUNZE

本資料のうち、業績見通し等に記載されている内容は、現在入手可能な情報による判断に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策を保証するものではありません。